



明石市立
文化博物館

文化博物館だより 第246号

2008年12月4日

みなさん、こんにちは。休日ともなると、大型バスなどで行楽へ出かける人々を見かけます。文博も、土日などは普段より多くの方が来館されます。

● 企画展の講演会に多くの参加がありました！

明石市教育委員会が主催している「法道仙人と行基菩薩の時代展」の記念講演会がありました。

第1回は岡山県にある就実大学の苅米一志（かりこめひとし）先生が、第2回は花園大学の古市晃（ふるいちあきら）先生がご講演されました。どちらの日も多くの聴講者がありましたが、先月29日（土）の第2回は予備席に座る方も出ていました。



11月24日「中世寺院と地域社会」

苅米先生は、中世の荘園について研究されていて、講演会では播磨国の事例から中世の寺院が現在よりもずっと現実的な力を持ち、治水や道路の整備、湯屋・風呂での治病・貧民救済などの活動で現世の苦しみを取りのぞき、庶民のかかえる様々な問題解決を行っていたというお話をされました。

古市先生は、近年、行基に関する新たな資料が発見され、『行基年譜』に見られる記述の信憑性が出てきて盛んになっている行基研究の最新の動向などについてお話しされました。



11月29日「行基菩薩の事績」

記念講演会は、12月7日（日）・14日（日）にも行われます。また、13日（土）には、大手前大学主催の歴史文化遺産マップ解説会を開催します。先日報道された、銘文入りでは最古の瓦質燈籠についても解説があります（全て、開始は午後2時～）。講演会の申込は、社会教育推進課（918-5057）まで。解説会は、申込不要です。直接、会場までお越し下さい。

普光寺所蔵の瓦質燈籠(がしつとうろう)は、企画展会場に展示中！ぜひ観にいらして下さいね！